

ここが聞きたい

ズバリ町政を問う

一般質問は議員個々の自由編集（会議録にもとづき）で掲載しております。詳細は会議録をご参照ください。掲載は質問順としております。

※大熊議員は掲載を辞退されました。

商工業支援 新融資制度の創設を

答弁：支援方法を検討する

大西 勇 議員



大西 町内業者の支援対策として、小口事業融資制度があるが使い勝手が悪い。新たに利子補給制度か保証料金補助制度を真剣に考え、バックアップ

プしてもらいたい。志免町の卸小売業の年間総売上げ額は県内66市町村で9位と頑張って本町の経済を支えている。

策として、男女青年主張大会を行ってはどうか。青年や退職された方・高齢者に勇気を与え、循環型の活性化につながっていく。

町長 この不況、知恵を出し乗りきっていくため合意形成と勉強をし、担当に指導していく。

町長 若い人達が将来を見据えて自分の主義主張を述べることはすばらしいと思う。いろんな若い人たちが意見を述べる機会があればお世話し、支援をしたい。



▲庁舎より町内を眺む

自治体自立 職員の研修体制作り

答弁：本町の状況は難しい

堤 久美子 議員



堤 前例に従って、他市町村と歩調をそろえて、国・県の指示通りという3つの意識を捨てて、町民の中に積極的に飛び込み、町民のため何が必要か、自分の頭で考える職員を育成する週末学校に

職員が手を上げられる体制づくりは。総務課長 研修の中で職員は大きな効果を上げてくるところが、行政改革の中で長い期間研修にやるのが難しい状況である。

して、活力あるまちづくりを創出して欲しい。町長 多目的広場、周辺遺構、第8坑連卸周辺を公園ふうを整備もした。利用・活用の仕方は町民と行政が協力し合いながら、対外的にはアピールをして周辺が活性化していけば町が元気になる。提言をいただきたい。

堤 評価（国の重要文化財に指定、世界遺産に登録される可能性が高い）を受けている堅坑櫓を活

学校給食 地産地消と食育

答弁：地場産が少ない

丸山 真智子 議員



丸山 地産地消が食育につながる、現状は。学校教育課長 米は粕屋産を使用。野菜等は学校給食会を通して購入している。

地元産を使うには価格の安定、調理しやすい、安全性の3点をクリアしなければならぬ。教育長 粕屋地区の食料自給率は平均6%（平成18年）で実現できない。丸山 ブロッコリーなど供給できるものもある。

池干して水の浄化を行い、住民サポーターを養成してもつと活用すべき。地域整備課長 時期によつては臭う。池干しは農区の水利権がある。町長 サポーターは必要と思う。さらに広報を行い、施設を有効に活用したい。

平成の森公園の活用 答弁：町民へ広報が不足丸山 事業費9億円で平成5年3月に竣工。

「その他の質問」 行政経営改革の推進 堅坑櫓周辺のビジョン



▲粕屋産の野菜（JAふれあいの里）